

令和6年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議
〈全体会議（第22回定例会）議事録〉

日 時：2025年（令和7年）2月18日（火）19：00～21：00

場 所：湘南大庭市民センター 2階 第1談話室

出席：9名

欠席：4名（吉田委員、石塚委員、竹内委員、荒井委員）

（協力員）0名

（事務局）湘南大庭市民センター 大塚センター長、入澤主幹、杉浦

1 前回の確認

令和6年度第21回定例会議事録（案）〈資料1〉

2 協議事項

（1）アンケートについて

来年度の定例会の運営を検討するため、10人の郷土づくり推進会議委員からのアンケート内容について、印刷した紙のものは字が小さく読みにくいことから、PDFデータで送付（事務局→議長）。

（2）全体集会（事前アンケートの内容を含む）について〈資料2〉

チラシの確定版を出席者全員で共有。

2月25日号の地域回覧に向け、昨日（2月17日）、チラシの印刷を終えた。各自治会への配達は2月20日の予定。→チラシの二次元コードによるアンケートは2月21日0時から公開予定。

全体集会は、スクリーンにスライドを投影して進行予定。

I部とII部で、スライド等の進行の仕方については今後検討する。

順番に部会の説明（プレゼンテーション）を壇上で行うか、又は、トークセッション形式で進行するか、今後検討する。

どのような形式での進行が望ましいか、各委員に検討していただき、次回の定例会で決定したい。

来年度から、湘南大庭地区郷土づくり推進会議と湘南大庭地域活性化協議会が統合する旨を報告し、締めくくりたい。

地区交流会でのスライドによる資料を含め、当日使用する資料を各部会で検討し、次回の定例会で報告してほしい。

3 各部会からの報告事項

（1）セカンドライフ部会から〈資料3〉

来年度の実施講座を決めるため、「広報ふじさわ」ではどのような市民講座を募集しているのか、調査してみた。

2024年1月10日号から同年8月10日号まで、15誌を調査した。幼児、小学生、中学生向けの講座は除き、成人・高齢者向けの講座を抽出した。

アンケート結果では、太極拳など需要のある講座が、「広報ふじさわ」によれば、公民館の講座としてあまり開催されていない。

講座が連続しておらず1講座のみの場合、本来の目的であるコミュニティ作りに結びつかない。

資料には、「実りの会」の講座内容を表にしたが、この講座のように10回分の講座としてメンバーを固定せず、2・3講座を一括りとした連続講座を開催することで、コミュニティ作りに繋げたいと考える。

コミュニティ作りが講座の目的であることから、参加者同士でLINEグループを作ってもらい、次回までの課題を出し合ったり、講座後に30分程度の会話の機会を設けるため茶話会をしたりすることを検討している。

アンケート結果や応募者の増加をねらい、対象者を現在の50歳～64歳ではなく、50歳～70歳に上限年齢を引き上げたい。

応募者が多ければ多いほど、より実態に近いデータが収集できる。

公民館での実施事業がもっと見えるようになれば、需給バランスで需要過多な講座を実施しやすくなる。

(2) デジタル推進部会から〈資料4〉

来年度に実施予定のスマホ教室は、滝の沢市民の家で開催予定。

今年度と同様、シニアの初心者を対象に全6回の講座として実施を検討。

開催頻度は、2週1回から毎週1回に変更する予定。

滝の沢市民の家の備品やWi-Fiなどの通信環境は整備されている。

開催予定日は、6月4日から7月16日まで水曜日に実施予定（6月25日を除く全6回）。

「スマホ何でも相談」は、13地区の市民センターで毎月2回実施してきたが、長後市民センターでは今後の開催を停止することのこと。

(3) かるた部会から〈資料5〉

2月28日16時、本センターで「湘南大庭ふるさとかるた」が納品される予定。

普通サイズの同かるたが700セット、ジャンボサイズの同かるたが12セット納品予定。

来年度の活用について、2月20日の部会で検討したい。

作品の募集を行った地域内の7つの小中学校への贈呈は、卒業式までに行えるように学校と日時を調整の予定。

タウンニュースに取材を依頼し、地域への周知を図りたい。

かるたの完成報告について、プレスリリースを行う予定。

資料に記載した先へ、かるたを配布する。

販売価格は印刷費をもとに、利益の出ないよう設定する。

今後、かるたの管理や運用方法を検討することが必要であり、本センターで行うのか、図書館に依頼するのかを検討していく。

応募作品の展示のため、3月18日から1階ホールの使用を予約済み。

かるたの展示方法を部会で検討していく。

3月16日、湘南西部団地の和室とホールで、片瀬駒のイベントを開催予定であり、日本古来の文化として、かるたを使用したイベントの実施について、高木委員から提案あり。その場合、郷土づくり推進会議が共催、又は、協力としてチラシに掲載してよいか検討したい。共催か協力か、その表記の仕方は、部会で決めることとなった。

過去に、明治地区と善行地区でかるた大会を実施しているため、参考にしたらよい。

生成AI分析による資料を添付してあるが、選定された44作品で多く使用されたワードを表記したワードクラウド画像を記載した。

多く使用されたワードとして、「大庭城址」、「ふじの花」、「遊水池」が挙げられる。

このワードクラウドによれば、大庭城址公園の特徴や魅力をよく表しており、大庭城址という単語が子どもたちの記憶に強く刻まれていることがわかる。

かるたの販売単価は715円（税抜）のため、税込で700円前後が販売単価の目安となる旨を事務局から説明。

(4) 大庭城跡部会から

第2回大庭城跡シンポジウムの実施結果を報告。

プレゼン講演では、川地先生のデジタル紙芝居がとても好評だった。

トークセッションがスムーズに流れ、Slidoによる出席者からの意見では、評価するコメントが多かった。

駒寄小学校の児童が3名出席していて、そのうち1名の児童からデジタル紙芝居はおもしろかったが、内容が少し難しく感じたとの意見を述べる場面があった。

デジタル紙芝居をより良く仕上げ、より多くの子どもたちに見てもらうように、友の会で検討しながら修正していったらよいのではないかと。

(5) 子ども居場所づくり部会から

来年度の親水公園まつりの実施に向け、藤沢市まちづくり協会と調整していきたい。

来年度、黒澤部会長は退任し、大学生の後輩2人が交代で定例会に出席する予定。

(6) ゴルフ部会から

3月4日の実施に向け、参加予定者を16名集めた。そのうち女性は1人。

参加者とは、お互いにLINE交換を行い、同会議が活動する際のボランティア等の協力を依頼できるよう、繋がりたい。

今後、参加者表を芙蓉カントリー倶楽部に送付予定。

コースを回り終わった後の待ち時間が、有効活用できないか今後検討。

4 その他

(1) デジタル回覧推進パンフレットについて〈資料6〉

今年度は、デジタル回覧推進に向けた内容を掲載したクリアファイル（原材料が紙のもの）を制作することで、本定例会で協議のうえ決定した。

表面には、デジタル回覧推進に向けた内容（昨年度のものから修正あり）を掲載し、裏面には、湘南ライフタウン活性化指針の冊子のデザインを掲載することで決定した。

カラーと白黒、また、1面と2面への印刷により費用が変わるのか、業者に確認し、予算の範囲内で最大部数の印刷を依頼することになった。

(2) 地区交流会について

市内13地区の郷土づくり推進会議の中で、公募委員のみで構成された地区は湘南大庭地区のみであり、事業の実施に向け積極的な活動を行っていることを改めて認識した。

6地区による発表や他地区と情報交換を行う中で、各地区の近況を知れたことは良かった。

善行地区では、今年度かるたを使ったウォーキングイベントを実施しており、とても盛況だった旨を聞いた。

この交流会を通して、各地区の学校が抱えている多くの問題を認識し、少しでも解決に向けて行動することが大切。

来年度以降の交流会には、少しでも多くの委員に参加してもらうことを望む。

隣接地区と連携した事業を展開してもよいのではないか。

親水公園まつりのようなイベントと、子ども居場所づくり部会が実施する「川ガキ」がコラボしてもおもしろいのではないか。

藤沢市まちづくり協会と協議したところ、来年度の（仮）大庭城跡わくわくフェスタと連携した実施は困難。親水公園内のコラボを検討。

来年度の地区交流会に向けた意見があれば、事務局まで連絡がほしい。

以上

【次回定例会】令和7年3月4日（火）午後7時～

湘南大庭市民センター2階 第1談話室